

令和7年度 事業報告

1. 概要

令和7年度の観光市場は、新型コロナウイルス感染症後の急激な需要回復が一巡し、消費動向が「量の拡大から質の向上」へと明確に転換した一年となりました。

日本政府観光局（JNTO）の推計によれば、訪日外国人客数は4,268万3,600人に達し、過去最高を更新いたしました。国内市場においても、物価高騰の影響を受けつつも旅行意欲は堅調に推移し、1人当たりの旅行消費額は約4.6万円と高い水準を維持しております。

北海道内においては、インバウンド入込数が約124万人と好調に推移し、特に韓国・台湾・中国からの観光客が上位を占めました。一方で日本人観光客については、物価高騰の影響に加え、大阪・関西万博の開催に伴う関西圏への需要集中もあり、道内・道外客ともに減少傾向という厳しい側面も見られました。

このような情勢下、当協会では平取町の地域資源を再発掘し、付加価値を高めるべく、町補助金や各種交付金を活用した以下の事業を展開して参りました。

地域資源の再構築として「びらとりレトロツーリズム」を通じた資源の洗い出し作業を実施しました。体験プログラムの深化と二風谷コタンにおける滞在時間の延長を目的に、事業者と協力し文化体験プログラムの磨き上げを推進しました。

販路の拡大としてECサイトを通じた特産品（クラフトジンや人気コンテンツとのコラボ商品等）の全国展開を強化しました。これに伴い、酒類販売業免許を通信販売から小売免許へと拡充し、多角的な販売体制を構築しました。

専門人材の育成として事務局職員が北海道大学「デスティネーション・マネージャー育成プログラム」を修了し、同大学認定の「デスティネーション・マネージャー」称号を取得し、観光地域づくりにおける、高度な専門性を身につけて参りました。

本年度は組織の専門性向上と既存事業の基盤強化に注力したため、新たな協会像を具体的に提示するまでには至りませんでしたが、これは令和8年度における飛躍のための重要な準備期間であったと認識しております。

平取町の観光が次なるステージへと進むべく、多大なるご指導を賜りました平取町並びに関係機関の皆様、そして事業を支えてくださった会員の皆様に対し、深く感謝申し上げます。ここに、令和7年度の事業概要を以下の通りご報告いたします。

2. 理 事

役職名	氏 名	事業所名
会 長	平 村 徹 郎	平取町建設協会
副会長	山 田 隆	びらとり温泉ゆから
副会長	新 井 貞 則	(一社) びらとりウレシパ
理 事	山 口 尚 之	(株)びらとりミート
理 事	藤 谷 直 樹	平取町課長職会
監 事	池 田 優 作	苫小牧信用金庫平取支店
監 事	佐 藤 和 三	平取町副町長

3. 各種会議等開催状況

(1) 総 会

開催年月日	会 議 名	議 件
R7. 05. 29	令和7年度 (一社) びらとり観光協会 通常総会	1 令和6年度事業報告並びに 収支決算書について 2 令和7年度 事業計画(案)並びに 会計収支予算書(案)について 3 事業追加に伴う定款変更について 4 任期満了に伴う役員改選について

(2) 理 事 会

開催年月日	会 議 名	議 件
R7. 04. 24	第1回 理事会	1 会員加入について 2 令和7年度通常総会の日程について 3 令和7年度通常総会の 議案内容について 4 新商品の進捗状況について
R7. 05. 29	第2回 理事会	1 役員改選に伴う役員選出について
R7. 11. 06	第3回 理事会	1 会員加入について 2 各種事業の進捗状況について 3 就業規則の変更について
R8. 02. 26	第4回 理事会	1 会員加入について 2 各種事業の進捗状況について 3 酒販免許取得進捗状況について

(3) 各種会議

開催年月日	会議名及びイベント	出席者
R7. 04. 15	第1回すずらん観賞会実行委員会	斉藤・渡邊
R7. 04. 16	モンキーリバー会議	斉藤
R7. 04. 17	優駿日高道！！オールひだか魅力発信協議会（WEB）	渡邊
R7. 04. 23	第1回 三館合同運営委員会	斉藤
R7. 05. 12	鵠川・沙流川 WAKUWAKU 協議会 総会	斉藤
R7. 05. 13	鵠川・沙流川 WAKUWAKU 協議会 第1回策定部会	渡邊
R7. 05. 20	平取町商工会 総会	斉藤
R7. 05. 26	平取町商工会 苫小牧法人会総会	斉藤
R7. 05. 27	第4回 二風谷国際先住民族フォーラム2025 実行委員会	斉藤
R7. 06. 17	第1回 チプサンケ実行委員会	斉藤
R7. 06. 18	第1回 食の祭典実行委員会	斉藤・渡邊
R7. 06. 24	アドベンチャートラベル会議（札幌）	斉藤
R7. 06. 26	第5回 二風谷国際先住民族フォーラム2025 実行委員会	斉藤
R7. 07. 01	優駿日高道！！オールひだか魅力発信協議会（WEB）	渡邊
R7. 08. 06	第2回 チプサンケ実行委員会	斉藤
R7. 09. 05	第7回 二風谷国際先住民族フォーラム2025 実行委員会	斉藤
R7. 09. 06～09	みちのくロングトレイル視察	斉藤
R7. 09. 09	第2回 びらとり食の祭典実行委員会	渡邊
R7. 09. 24～27	二風谷国際先住民族フォーラム2025	斉藤・渡邊
R7. 10. 16	日高観光ネットワーク会議	斉藤・渡邊
R7. 11. 6	優駿日高道！！オールひだか魅力発信協議会（WEB）	渡邊
R7. 11. 10	鵠川・沙流川 WAKUWAKU 協議会 第2回策定部会	渡邊
R7. 11. 26	日高観光ネットワーク&ロングトレイルセミナー	斉藤
R7. 12. 30	二風谷コタン DAY 関係者会議	斉藤
R8. 01. 22	第3回 三館合同運営委員会	斉藤・渡邊
R8. 01. 23	アイヌ施策関係職員等研修会	渡邊
R8. 02. 17	優駿日高道！！オールひだか魅力発信協議会（WEB）	渡邊
R8. 03. 20～22	萩エコミュージアム視察	斉藤
R8. 03. 25	「シシリムカ・イウォロ博物館計画」地域説明会	渡邊

(4) 事業活動

I. 観光客誘致事業

各種イベントを通じて本町の魅力ある特産品等を町外に発信し、本町の観光振興、誘客に繋げることを目的に事業実施を行った。

①ゆからイベント	5/5 (月・祝)
②すずらん観賞会	5/24 (土)・25 (日)・5/31 (土)・6/1 (日)
③まるまるひがしにほん	6/24 (火)～29 (日)
④大丸東京店	7/4 (金)～8 (火)
⑤伝統的工芸品展示会 (道庁)	7/10 (木)・11 (金)
⑥モンキーリバー	7/12 (土)
⑦二風谷コタン DAY	7/19 (土)
⑧びらとり DAY (門別競馬場)	8/5 (火)
⑨大ほっかいどう祭 (STV)	8/23 (土)・24 (日)
⑩苫信 まち市	8/30 (土)
⑪オータムフェスト 2025	第1期: 9/12 (金)～16 (火) 第2期: 9/19 (金)～23 (火・祝)
⑫函館グルメワンダーパーク	9/27 (土)・28 (日)
⑬二風谷コタン DAY	2/7 (土)
⑭地下歩行空間 アイヌ工芸展	3/14 (土)・15 (日)
⑮ファイターズ応援パーク	3/27 (金)

II. 観光宣伝と観光客の誘致促進

平取らしい地域資源や豊富な食の魅力等について情報収集を行い、迅速な観光情報配信を行った。

- ① 平取町観光パンフレット製作
通常版 10,000 部 英語版 2,000 部 繁体字版 2,000 部
- ② 飲食店&土産品・宿泊パンフレット作製 3,000 部
- ③ 観光うちわ 5,000 部作製 (町外イベントでの配布)
- ④ 北海道じゃらん 9月号
- ⑤ O.tone (オトン) Vol.208 号
- ⑥ EC サイトにて観光協会商品販売
- ⑦ 協会ホームページでの情報発信及び Facebook・X (旧ツイッター)・Instagram での発信
- ⑧ SNS 広告の開始

Ⅲ. 観光土産品と観光特産品等の紹介、宣伝及び提供

「ニプタイデラックスクッキー」は順調に推移して例年並の約 2,100 箱の販売に至った。昨年に引き続き日本酒「涼爛」の酒粕を使用した「びらとり酒粕まんじゅう」もすずらん観賞会及び町内販売店で扱いも増えお土産品として定着してきている。

JA びらとり様と協力して商品化したゴールデンカムイコラボパッケージトマトジュースも 3 月より協会 EC サイトにて販売を開始し、全国からの受注を受けて発送作業に追われています。酒販免許も通信販売限定免許を取得後、小売資格も取得しており今後道央圏での物産展等にも販路を広げていく。また、「山の駅ほろしり」に関しては昨年同様の売上額となった。

Ⅳ. 隣接他町との観光連携事業

日高町、むかわ町他との観光広域交流事業の推進を図った。

- | | |
|-----------------------------|----------------|
| ① フードカーニバル【門別競馬場】 | 6/12（木） |
| ② むかわ・平取物産展（札幌市） | 7/ 23（水）～24（木） |
| ③ ふるさと祭り（占冠村） | 8/2（土）～3（日） |
| ④ フードカーニバル【門別競馬場】 | 8/28（木） |
| ⑤ 門別競馬場 P R 物販 | 10/30（木） |
| ⑥ 門別競馬場 P R 物販（ J B C ） | 11/3（月・祝） |
| ⑦ 門別競馬場 P R 物販 | 11/11（火）～13（木） |
| ⑧ むかわ・平取・日高物産展（札幌市） | 11/18（火）～19（水） |
| ⑨ オールひだか魅力発信物産展 | 11/19（水）～20（木） |
| ⑩ ニューイヤーフェスティバル 2026in とみくる | 1/10（土） |
| ⑪ 平取・日高物産展（札幌市） | 3/18（火）～19（水） |

Ⅴ. 観光諸行事の協力

すずらん観賞会協業/チプサンケ協業/びらとり食の祭典協業

全道 PK グランプリ協業/モンキーリバー/義経雪あかり（商工冬まつり）協力

VI. 平取町や地域団体の地域振興事業の受託

アイヌ政策推進交付金事業では1事業、町委託事業では1事業、観光振興機構事業は1事業を受託した。

1) アイヌ文化魅力活性化事業

【業務委託期間】

令和7年5月1日～令和8年3月20日

①ゴールデンカムイ シシリムカの彼方 平取町×謎解き

日 時：令和7年10月4日（土）～11月3日（祝・月）

参加実績：1,303名／985名（アンケート結果）

広告カウント数：9月6日投稿 X（旧ツイッター）

インプレッション数 21万

リンククリック数 3,107

ページアクセス数：観光協会ページ 21,173回

②アイヌ伝統衣装試着体験&展示

日 時：令和7年10月4日（土）～11月3日（祝・月）

場 所：アイヌ工芸伝承館

参加実績：約40名

日 時：令和7年11月4日（火）～12月7日（日）

場 所：平取町立アイヌ文化博物館

参加実績：約20名

事業効果

本事業は、アニメシリーズ劇場版の公開時期に合わせて実施した謎解きイベントである。作品の話題性を活用し、来訪動機の創出および地域回遊の促進を目的として実施した。参加者は男性よりも女性が大幅に多く、根強いアニメファン層の影響が大きいと考えられる。年齢構成では、事業目的の一つである30～40代の中年年齢層がアンケート回答者985名中51.6%を占め、半数近くに達した。さらに10～20代を含めると全体の74%を超える結果となった。一方で、50～70代も25%を占めており、前年の実写版イベントに引き続き、中年年齢層以外へのアプローチについても一定の効果が継続していると評価できる。

情報取得手段については、SNSおよび公式ホームページが約70.2%を占め主要な情報源となった。次いで、ポスター掲示（来町前・来町後は不明）による情報取得が約11%であった。

一方で、SNS等による情報拡散が十分に機能しているとは言い切れず、周知手法については引き続き検討が必要である。特に、公式アカウントによるリツイートの影響が大きく、当協会単独での発力には限界があることから、今後の課題として捉える必要がある。

アンケートの自由記入欄では、本イベントに対する肯定的な意見が多数寄せられた。「ゴールデンカムイ」支持層による参加と、本イベントを通じて初めてアイヌ文化に触れた参加者との相乗効果により、多くの来訪者獲得につながっていると考えられる。

その結果、「平取町＝ゴールデンカムイイベント」というイメージが一定程度波及していることが伺える。一方で、来場者にはノベルティを期待する傾向が強く、今後は平取町独自のノベルティ開発が課題となる。費用面等の課題を踏まえ、平取町と連携しながら検討を進める必要がある。

各事業所の入込数について下記のとおり

	参加者	沙流川歴史館	二風谷アイヌ文化博物館	萱野茂二風谷アイヌ文化資料館	びらとり温泉 ゆから	アイヌ工芸伝承館 ウレシパ
	ゲームブック配布数	謎解きポイント	謎解きポイント	謎解きポイント	謎解きポイント	スタート・ゴール
合計	1303	3887	3974	1546	4302	1817
前年同時期		4827	3808	844	3559	1033
比較		81%	104%	183%	121%	176%

文化体験プログラムとして、謎解き開始日の10月4日(土)から11月3日(祝・月)まで、ウレシパの協力のもと、アイヌ伝統衣装の試着体験を実施した。事前告知は行わず、来館者への声かけによる実施とした結果、約40組が体験した。野田サトル氏の色紙を同時展示したことによる相乗効果も見られた。

謎解き終了後の11月4日(火)から12月7日(日)までは、二風谷アイヌ文化博物館に会場を移して実施し、約20組が体験した。参加者は消極的な反応を示す場合もあったが、こちらから声をかけた場合には多くが試着を体験し、「普段は体験できない」と好評であった。なお、報告書用の撮影については、了承を得られないケースが多数あった。

③アイヌ民具コレクションカード事業

期 間：令和7年8月1日（土）～なくなり次第終了

参加事業所：観光協会加盟の飲食店、土産店等21事業所

カード種類：カードにランクを付け24種類の民具 各種300～800枚

計13,000枚

事業効果

前年同様のペースで配布を行い、予定通り約2か月で主要施設での配布を終了した。配布枚数は、二風谷アイヌ文化博物館が5,000枚、萱野茂二風谷アイヌ資料館が1,500枚、二風谷工芸館が800枚と、いずれも例年と同等の結果となった。

開催期間中に「ゴールデンカムイ シシリムカの彼方 平取町×謎解き」を実施したことにより、特に博物館等の施設で配布数が伸びた点が特徴として挙げられる。二風谷コタン周辺での配布が多かった一方、飲食店では100～200枚程度、土産物店では200～500枚程度の配布があり、町内回遊が一定程度促進された結果といえる。

本事業は今回で4回目となり、民具カードのバリエーション拡充が難しくなってきたことから、新たな回遊促進アイテムを検討する段階に来ている。今後は、文化的景観やアイヌ語といった無形文化、さらには人気実写映画に由来する要素等を取り入れることで、新鮮味を持たせた企画立案が求められる。

2) 平取町観光PR事業

事業効果

令和7年度は、前年に引き続き各種イベントも通常開催となり人数制限等の規制もなくなり例年通りの出展スタイルで、様々な町外イベントに出店することが出来た「O.tone（オトン）Vol.208号」への掲載などを実施することで、道央圏への観光PRに繋がった。

日高・むかわ・平取での3町広域として、ホッカイドウ競馬の門別競馬場でのイベント等にも出店しており、食を通じて効果的にプロモーションを実施することができた。平取町の食材のPRのみならず、観光プロモーション、ふるさと納税PRなど様々な角度からアプローチをかけることで、平取町の認知度を広げることに繋がられている。

食のイベントに関しては、継続的に実施している効果もあり全道的に「びらとり和牛」の美味しさが広がっており、「美味しかったので、平取まで来て食べました」や「今度は温泉などに入りながら平取を満喫したい」などの声をいただき、「食を通じて、平取町へ足を運んでもらう」という目標も少しずつ増えていると感じた。また、オータムフェストなどではSNSでの投稿数は依然高い傾向にあり、口コミでの評価による更なる情報発信に繋がっていると感じる。

物販PRでは道内のみならず道外へ出向き「びらとり和牛」や「びらとりトマ

ト」の特産品としての魅力を発信することで、認知度が徐々に高まっていると感じる。

当町のキラークンテンツであるアイヌ文化と観光がお互いを活用しあうことで、経済効果及び費用対効果を何倍にもなりえるとも感じ、継続的な関係性が必要である。道内は購買だけではなく、同時に食や土産・宿泊を網羅したパンフレットを配布することで、より当町に興味をもってもらい来町するキッカケの仕組みとしている。

旅行雑誌への掲載や道外イベントへの出展により、まだまだ知られていない北海道の魅力を発信することで、道内旅行先への旅前情報として継続していくことは重要と捉えている。

3) 北海道観光機構補助事業

「びらとりレトロツーリズム」【新規事業1年目】

平取町にある歴史的文化物に焦点を当て新たな観光資源活用の調査後、観光商材への転化を図り、広く認知させるためにマーケティング調査を行いグッズの商品化、観光ツアー造成をし、広く平取全域を認知してもらう。

【業務期間】

令和7年5月26日～令和8年2月27日

事業内容

- ① R3年～5年の期間の補助事業で「すずらん群生地」のポイント以外の観光商材を作る。

平取在住、著名な版画家と体験商材開発調整中。

- ② 平取町に眠っている観光資源の洗い出し

1. レトロブーム

SNSで人気のレトロジャンル・SNSでのレトロ表現の特徴・Instagramで調査

2. 平取町のレトロ懐古商材洗い出し調査第1段

平取町文化的景観の中からアイヌの伝承が残るものをピックアップ、旧小学校跡地「沙流川アート館」、平取町開拓財産展示施設など再調査

3. ハヨピラ自然公園の調査

活用の可能性を探る為に許可をもらい現地調査

- ③ 域内交通の可能性調査及び施行

1. 民間バスの活用

- ・旅客自動車運行事業の許可を得ていない当協会が観光事業をする際の懸念される部分に関して室蘭運輸局に赴きヒアリングを行った。

- ・地元運行事業者と観光協会と連携して当協会所有予定のマイクロバスを使用しての域内観光交通の可能性のヒアリングを行った。
- ・平取町で行ったファムトリップに組み込んでもらい無料で検証を行った。

2. レトロデザインラッピング

レトロデザインマグネットシートで検証

(5) 地域貢献事業（新入学児童への記念品贈呈）

全町5小学校 入学児童 22名、平取養護学校入学生（小・中・高） 26名
下記セットを記念品として贈呈

・ビラッキータオル・ビラッキー自由帳・ビラッキーシール・ビラッキークリアファイル

(6) 各種ツアー事業の実施協力

- 1) JTB 北海道 令和7年度 ファムツアー
アジア圏AT販売促進事業
欧米豪市場誘客促進事業
主体：北海道観光機構

- 2) ウポポイ・平取地域相互連携事業
主体：平取町アイヌ文化振興公社

(7) 北海道大学 デスティネーション・マネージャー育成プログラム履修

- 1) 「観光事業（ビジネス）」、「観光地域」、「観光組織」の3つの領域におけるマネージメント能力を持つ人材を育てるプログラム
斉藤事務局長が履修